

# 大谷大学チベット研究サイトの再構築について

1048074 中地菜摘

## 目 次

1	はじめに	1
1	1 テーマの動機	1
2	2 既存サイトの改善点	2
3	3 利用対象者	4
4	4 製作物	4
2	WordPress	5
1	1 WordPress とは	5
2	2 テーマ	6
3	3 インストール	6
3	ビジネスサイト作り	7
1	1 基本設定	7
2	2 投稿と固定ページ	9
3	3 グローバルナビゲーションとユーティリティ	14
4	4 お問い合わせフォーム	15
5	5 ビジネスサイトを作ってみて	16
4	製作物の作成	17
1	1 再構築するにあたって	17
2	2 固定ページ	17
3	3 投稿とフロントページ	19
5	おわりに	20

## 1 はじめに

### (1) テーマの動機

私が所属する福田ゼミのテーマは、「人の役に立つ Web アプリケーションを作ること」である。このテーマに沿って卒業制作を進める上で、まず、人の役に立つものについて考えてみた。人の役に立つものとは、自分の作りたいものでもなく、自分のためにでもなく、自分以外の誰かに満足してもらえるものだとは私は考えた。

また、HTML と CSS の知識を増やし、もっと活用し身につけたい意欲があったので、HTML と CSS を使用して、誰かに満足してもらえる Web アプリケーションを作成したいと、福田先生に相談させてもらった。

そこで進めてもらったのが、大谷大学のホームページ内にある、「大谷大学チベット研究」の Web ページの再構築だった。(図 1 参照) そのページを見てみると、新着情報の日付が 2 年も前のものであったり、各ページの更新が止まっていたりと、問題点がたくさんあった。(図 2 参照)

「大谷大学チベット研究」Web ページを再構築することで、クライアントにとって、便利で更新が面倒ではなくなるので、人の役に立つものとして成り立つ上に、卒業制作を通して、HTML と CSS の知識が増えて、勉強にもなるので、この Web ページを再構築することを、卒業制作にする事に決めた。

「大谷大学チベット研究」Web ページの責任者、人文情報学科の三宅先生に、再構築するにあたって、この既存 Web ページの問題点や改善点を伺う時間と取って頂いた。最も改善すべき点は、オンラインで更新をできるようにすることだ。それを踏まえた上で、HTML と CSS をよ

り、WordPress を使用して Web ページを作った方がいいと福田先生に勧めたので、WordPress を勉強することにした。HTML と CSS をもっと勉強したいという最初の目的とは変わってしまったが、サイトを作るという意味では目的は同じということで、WordPress は授業で扱っていなかったこともあり、せっかくなので、この機会に WordPress を勉強することに決めた。

## (2) 既存サイトの改善点

先ほど述べた通り、企画書 (図 3 参照) を三宅先生に見て頂き、改善点をお聞きし、一番の改善点はオンラインで Web ページの更新をできるようにすることだとわかった。今まで HTML と CSS で Web ページを作成・更新しており、更新するためには、HTML のファイルを書き変えて更新しなければならなかった。手間がかかり、面倒なことが、更新の怠りの原因となっていたのだ。

既存サイトをそのままの状態、オンラインで更新が出来るようにするだけではなく、三宅先生のお話をお聞きしていると、しばらくの間更新されなかったために、改善や最新情報の書き換えが必要な点もいくつか見られた。

一つ目の問題点は、Web ページの情報が過去のものであり、現在のものと異なっている点である。具体的に挙げてみると、まず、更新情報が数年前のものであるということ。既存の Web ページの更新情報は 2010 年 12 月 7 日を最後に更新が止まってしまっている。これでは、この Web ページを見たユーザーが、Web ページ自体が、今も機能しているのかどうか、疑ってしまうことも考えられる。

次に現在と異なっている点は、研究スタッフを紹介するページの研究

スタッフが、現在のスタッフとは異なっている点である。三宅先生にお話しを伺える機会に、既存 Web ページに紹介されているスタッフの情報は、今も変更ないかお聞きしたところ、現在のものとは異なっているということで、研究スタッフについても変更しなければならない。このままでは、Web ページを見たユーザーに、異なった情報を提供してしまうことになる。

次に、情報が現在のものと異なる点以外に、改善すべき点について、具体的に挙げてみる。

まず、「紹介します」や、「掲載します」と記述しているのに、実際には紹介や掲載がされていない箇所があった。Web ページ内でいうチベット入門のページである。(図 4 参照) チベット語を勉強したい人のために、チベット語教本紹介や辞書などの入手方法を文字では書き記されているが、リンクページが見当たらない。

また、チベット世界への留学について書かれているページでは、留学をされた人の経験や、留学中の方の記録を記載していますと書き記されているが、ここにもリンクが見当たらない。(図 4 参照)

今挙げた 2 つ以外にも、「紹介します」「掲載します」の言葉だけで、紹介文や掲載先が見当たらない箇所がいくつか見られた。

これらも、オンラインで更新ができないことが原因ではないか、と考えた。

三宅先生とお話する時間を設けて頂いた結果、HTML ではなく、WordPress を使って Web ページを作る事を福田先生に勧めて頂き、WordPress で Web ページ作りをすることに決めた。

### (3) 利用対象者

利用対象者は、大谷大学チベット研究 Web ページの管理者とユーザーである。先述した改善点を改善し、管理者にとって使いやすく、更新頻度を高められることと、ユーザーが利用していて、便利で役に立ち、利用しやすいと思ってもらえる Web ページを作ることが求められる。

いつ誰が閲覧してもいいように、常に最新の情報を掲示し、Web ページがきっかりで問題が生じることがないようにする必要もある。そして、管理者が Web ページを作るにあたって伝えたいと思っていたことをユーザーに伝えられるような Web ページを卒業制作として、WordPress を使って製作していこうと決めた。

### (4) 製作物

初めは、HTML と CSS を使用して卒業制作を進めることにしていたが、最終的には、Web ページの再構築としてよりふさわしい WordPress を使って大谷大学チベット研究ページを再構築することにした。

既存の Web ページを参考に、Web ページの構成などは大まかには変えず、不要なページや項目はカットする方向で進める事にした。

WordPress は名前すら知らなかったのと、使えるようになると便利だが、使えるようになるまでが難しいということで、まずは WordPress を勉強して知識を増やすところから始めた。WordPress について書かれているサイトを読んだり、福田先生に貸して頂いた参考書を見ながら、参考書に沿って、本題のサイトとは別に練習用としての Web サイトを作ってみたりしながら学習した。

時間をかけて学習し、知識を蓄積させた後、本題の大谷大学チベット

研究の Web サイトの作製に取りかかった。

## 2 WordPress

### (1) WordPress とは

ブログを作成するためのソフトウェアのことを WordPress という。  
(<sup>1</sup>)WordPress では、動的に HTML データを生成することによって、動的な Web ページを実現することを主な目的としたプログラミング言語である PHP(Preprocessor) と、Web 上の文書を記述するためのマークアップ言語である HTML(HyperText Markup Language) で容易に Web ページをカスタマイズすることができる。

サーバーを借り、そこに、WordPress 日本語ローカルサイト (<http://ja.wordpress.org/>)(図 5 参照) から WordPress ファイルをインストールすることで、Web サイトを作り始める事ができる。インストールさえすれば、ここからは自分次第で自由にオリジナルサイトを作り上げることができる。

Web ページとしては、ページタイトルとなるグローバルナビゲーションからアクセスできる、トップページ等の各ページに、固定ページや投稿ページを組み合わせて Web ページを作成することができる。また、プラグインを追加することで、サイトマップやトップへ戻るボタン等、新たな機能を追加させることも可能だ。

初めて WordPress を勉強し、Web ページを作成して分かった事は、理解するまでは一言で表せれば難しく、ごちゃごちゃしていてややこしいが、一度習得して作ってしまえば、自分の好きなように Web ページをカスタマイズし作り上げることができるということだである。

## (2) テーマ

テーマ (テンプレート) とは、PHP テンプレートにスタイルシートを組み合わせたセットのことで、Web ページの見た目を作るデザインのことをいう。管理画面の、「外観」 「テーマ」からインストールサイトへ入り、目的に応じたテーマを無料で検索できるようになっている。

(図 6 参照)

それ以外にも、インターネット上で簡単にダウンロードすることができ、その数は非常に多種であり、現在は<sup>(2)</sup>14500 種以上も存在する。そのため、人それぞれに合う好みを見つけやすい。また、テーマをいくつか保存しておくことで、管理画面の「外観」 「テーマ」から、指定したいテーマ下の「有効化する」を押すだけで簡単にテーマを変更させることができるので、その時の気分に合わせて、Web ページのデザインを変更することもできる。(図 7 参照)

## (3) インストール

まずサーバを準備し、先述した WordPress 日本語ローカルサイト (<http://ja.wordpress.org/>) でダウンロードした zip ファイルを解凍すると、「wordpress」というディレクトリが現れる。その解凍したファイルを、準備したサーバの適切な箇所に、ファイル群をアップロード。

アップロードには大きく 2 通りある。この解凍した WordPress をドメイン直下 (ドキュメントルート) に設置する場合と、ドキュメントルートではない場所に WordPress を設置する場合。

Web サーバは、サーバ内の構造すべてにアクセス出来てはセキュリティ上の問題があるため、サーバ内の実際のルートが知られない様に、仮想のルートで公開されることになる。この、Web 上に公開するため

のルートディレクトリのことを<sup>(3)</sup>ドキュメントルートという。

ドキュメントルートではない場所とは、ディレクトリの名前を必要に応じて変更し、解凍済みファイル群をディレクトリごとすべて Web サーバのドキュメントルートにアップロードすることである。

今回私は、前者のドキュメント直下 (ドキュメントルート) に設置する方法を選び、Web ページを作成した。

WordPress をインストールするためには、データベースの設定が必要となり、今回は XAMPP を用いて MySQL を起動させ、練習用のビジネスサイト「wordpress」と卒業制作メインの大谷大学チベット研究サイト「twrp」の二つのデータベースを作成した。(図 8 参照)

アップロードした URL にブラウザでアクセスし、インストールを実行。先程作ったデータベースの情報と、サイト情報を入力することでインストールが完了した。すると、Web ページの管理画面にログインページが表示され、ログインすることで Web ページの表示に成功した。(図 9 参照)

### 3 ビジネスサイト作り

#### (1) 基本設定

卒業制作として大谷大学チベット研究サイトを作る前に、福田先生に貸して頂いた「本格ビジネスサイトを作りながら学ぶ WordPress の教科書」(プライム・ストラテジー株式会社 著)で、ビジネスサイトを作りながら WordPress の理解を深めることにした。

WordPress をインストール、ビジネスサイトのサンプルデータをダウンロードし、Web ページをブラウザで表示させた。管理画面の「外観」「テーマ」から、ビジネスサイトのテーマ「Pacific Mall Development」

を有効化させようとしたが、テーマとして示されなかった。原因は、テーマとして利用可能にする為に最低限必要とされる「index.php」と「style.css」が揃っていなかったためである。テーマとして認識させるため、「start.html」の名前を「index.php」に変更した。すると、「Pacific Mall Development」が、利用可能なテーマとして表示され、有効化に成功した。

トップページを表示させると、style.css や画像などのパスが正しい場所を示していないため、スタイルシートが上手く適応されていなかった。正しく表示させるため、bloginfo() のテンプレートタグで書き換えを行う。ビジネスサイトのテーマのディレクトリ内の URL が出力され、CSS が適用し、画像も表示された。(図 10・11 参照)

トップページが、Web ページらしくなったところで、ファイルの複雑化を避け、index.php を header.php、sidebar-top.php、footer.php—に分割し、header.php を読み込むためのテンプレートの<?php get\_header();?>、sidebar-top.php の<?php get\_sidebar(' top ');?>、footer.php の<?php get\_footer();?>を index.php に置き換えた。分割するために置き換えただけなので、トップページに変化はない。(図 12・13 参照)

index.php 内の複雑化を解消させたので、次は、サイトヘッダー部分にツールバーを表示させるためにテンプレートタグを追加する。これは、サイト表示と管理画面の表示を容易に切り替えられるようにするためである。

header.php を開き、<?php bloginfo( ' name ' );?>でサイト名称を出力し、<?php bloginfo( ' description ' );?>でキャッチフレーズを出力し、<?php echo home\_url( ' / ' );?>でトップページへのリ

リンクを出力するこれらのテンプレートを置くことで、ツールバーを表示させることができる。出力させるキャッチフレーズは、管理画面の「設定」「一般」でキャッチフレーズの変更を行える。(図 14・15 参照)

footer.php 内のコピーライトの [company 's name] 部分を<?php bloginfo( ' name ' );?>に置き換え、フッターにもサイト名、又企業名を表示させた。(図 16 参照)

最後にトップページのメインイメージを変更し、Web ページの大きな設定の変更としては終了する。メインイメージの変更は、管理画面の「外観」「ヘッダー」で行うことができる。

「画像をアップロード」ボタンをクリックすると画像の選択画面が出るはずが、使用している親ディレクトリのアクセス権がサーバによる書き込みを許可していないため、エラーが出てしまった。私が使用している mac の場合、ターミナルを開き、このディレクトリに書き込み権限を付与することで問題は解決でき、画像をアップロードすることに成功した。

## (2) 投稿と固定ページ

### (i) 準備段階

投稿とは、ブログ形式の時系列記事のことであり、固定ページとは、時系列ではない通常の Web ページ形式の固定記事のことであり、この二種類が WordPress における記事形式である。

まずは、用意されていたサンプルを確認しながら、投稿と固定ページの両方共通するパーマリンクの変更から行う。パーマリンクとは、Web ページの URL となる部分のことで、見た目や使いやすさを改善するために、形式を変更した。語尾が「?p=1」や「?page\_id=2」から、

「archives/1/」や「sample-page」に変更されていることが確認できた。変更することによって、そのページが何について書かれているのか、他のどのページと繋がりがいいのか、などが分かり編集しやすくなった。

パーマリンクの変更が確認できたら、不用になったサンプルを投稿ページ、固定ページ共にゴミ箱へ移動させ、削除した。削除方法は、投稿ページの場合、管理画面の「投稿」「投稿一覧」で、タイトル横のチェックボックスにチェックを入れ、「一括操作」プルダウンメニューからゴミ箱を選択。最後に「適用」をクリックするとサンプルがゴミ箱へ移動された。固定ページの場合は、管理画面の「固定ページ」「固定ページ一覧」から同様の操作でゴミ箱へ移動させることができる。ゴミ箱に移動したこれらの記事は、30日で削除される。

次に、WordPressを日本語環境で正しく動作させるために必要なプラグイン「WP Multibyte Patch」を有効化させる。管理画面の「プラグイン」で確認し、「WP Multibyte Patch」が無かったので、インストールしたプラグインディレクトリをビジネスサイトディレクトリ内にアップロードした。先程の「インストール済み」画面でアップロードが確認できたので、有効化させ、「WP Multibyte Patch」のプラグインを機能させることができた。(図 19 参照)

## (ii) 入力

投稿と固定ページを作成するための準備が出来たので、投稿の入力から行った。まずは、投稿記事作成の際に必要なカテゴリーの追加を行う。管理画面の「投稿」「カテゴリー」から、名前欄とスラッグ欄を入力し、新規カテゴリーを追加した。(図 17 参照) スラッグとは投稿や固定ページを表す単語であり、パーマリンクで使われるため、英数字

と「-(ハイフン)」しか入力することができない。ビジネスサイトでは、カテゴリーの名前とスラッグをセットにして、「コラム-column」「モール出店情報-malls」「イベント開催情報-event」「お知らせ-information」の四つを追加した。

次に記事のタイトルと本文を入力する。管理画面の「投稿」「新規追加」で、タイトルと本文を入力することができる。本文の入力には、ビジュアルモードとHTMLモードがあり、HTMLモードでは、HTMLを使って本文を作成することができ、HTMLの知識がなくても、ビジュアルモードで更新できるのが特徴である。

今回投稿させる、タイトル「アジアのハブ空港、チャンギ」と、その本文、先程作成したカテゴリーを選択し、「公開」をクリックする。しかし、「投稿の表示」をクリックしても「アジアのハブ空港、チャンギ」の記事が表示されなかった。原因は、トップページのテンプレートしかないためである。そこで、管理画面の「外観」「テーマ」から、別のテーマである「Twenty Eleven」を有効化させ、もう一度投稿記事の「投稿の表示」をクリックした。すると、記事のタイトルと本文が表示されたことが確認できた。同じ要領で、管理画面の「投稿」「新規追加」から教科書に書かれている全十二個の記事を作成した。

続いて管理画面の「固定ページ」「新規追加」から固定ページの入力を行った。固定ページにも投稿と同様に本文はビジュアルモードとHTMLモードの二通りある。今回最初に作る固定ページ「会社概要」のタイトルと本文を入力した。(図 18 参照)

次に、パーマリンクを編集する。パーマリンクの語尾の一部は編集可能なので、英数字を使って好きなように書き換えられる。今回の「会社概要」は、パーマリンクを「about」と書き換えた。

### (iii) ページ属性

最後にページ属性の選択と入力を行った。ページ属性とは、簡単に言うと、他のページとの繋がりを示すものである。親を選ぶことで、選択したページの子ページとすることができる。また、順序というものがあり、これは、固定ページが表示される順序を表す。設定した数値の値が小さい順に固定ページへのリンクが表示され、設定できる最小値は「1」である。

「会社概要」の固定ページを、親を「親ページなし」で作成し、次に「事業紹介」の固定ページを、親を「会社概要」と選択して作成し、「事業紹介」を、親ページ「会社概要」の子ページとして作成した。(図 20 参照)「事業紹介」スラッグは business で設定。投稿と同様、教科書に書かれている全十三個の固定ページを作成した。

表示してみると、全てのタイトルと本文の表示を確認できた。親ページのタイトルにマウスオーバー(マウスのカーソルを移動した時に実行される処理のこと)すると、親ページに連なって子ページが表示された。

テーマを管理画面の「外観」「テーマ」から元の「Pacific Mall Development」に有効化させて戻し、「Pacific Mall Development」で投稿や固定ページを表示できるように、設定を変更していく。

### (iv) フロントページ

まず、トップページの割り当てと、テンプレートを変更するため、フロントページ(トップページ)の表示設定から行う。管理画面の「設定」

「表示設定」から、「フロントページの表示」で「固定ページ」にチェックを入れ、次に、「フロントページ」では「トップページ」を選択し、変更を保存した。この設定で、選択した固定ページの「トップページ」がフロントページに設定することができた。(図 21 参照)

フロントページを固定ページに設定できたところで、トップページ用のテンプレートを変更していく。まず、front-page.php のファイルを新規作成し、index.php の中身を変更せずにコピーした。コピー出来れば index.php の中身は全て削除し、「index」の文字を反映させるための `if(php echo "index " ;` を記述した。トップページは、変わらずトップページ用の表示がなされた。(図 22 参照)

#### (v) テンプレート

トップページ以外の場合、`if(php echo "index " ;` を、index.php に記述したことにより、管理画面の「固定ページ」「固定ページ一覧」から固定ページにアクセスすると、「index」の文字が表示されるようになった。front-page.php を作成したのは、優先度の高いテンプレートが front-page.php にある場合、index.php ではなく front-page.php が呼び出されることを確認するためである。なぜなら、index.php が、WordPress のテンプレートの優先順位の仕組みによって、より優先度の高いテンプレートがない場合に、最後に呼び出される仕組みになっているからである。従って、index.php より高度なテンプレートがある front-page.php がトップページとして表示されたのだ。

front-page.php が、トップページに優先されて表示されたことを確認できたので、次に固定ページのテンプレートを作成していく。まず、固定ページ用テンプレートとして、page.php を新規作成し、必要な部分を front-page.php からコピーした。続いて、サブページ用のサイドバーテンプレートとして sidebar-top.php をコピーし、sidebar.php の新規作成を行った。page.php は、固定ページ全体を、sidebar.php は、固定ページ本文のサイド部分を表示させている。

page.php を開き、本文を表示させるための「WordPress ループ」と

呼ばれるテンプレートタグを記述し、その中に、タイトルとコンテンツを出力させるための記述を追加した。初めに作った固定ページの「会社概要」を表示させてみると、タイトル、本文、コンテンツの表示を確認することができた。

次に、投稿のテンプレートを呼び出す。固定ページとの共通化のため、page.phpの一部をコピーして、パーツテンプレートとして、content.phpを新規作成する。そして、コピーしたcontent.phpを呼び出すためのテンプレートget\_template\_part()をpage.phpに追加した。get\_template\_part()は、任意のテンプレートを呼び出してくれるテンプレートタグである。固定ページを表示させて、固定ページの変更がないことを確認し、page.phpを、投稿テンプレートとして新たに作成したsingle.phpにコピーした。

その後、教科書に従い、投稿一覧ページで投稿を表示できるアーカイブページ、記事ごとに画像を表示させるアイキャッチ画像の設定を行い、投稿と固定ページを完成させることができた。(図 23 参照)

### (3) グローバルナビゲーションとユーティリティ

グローバルナビゲーションとは、固定ページの親ページのタイトルが並べられている部分を指し、これを設定することで、クリックしたタイトルのページへ移動することができるようになる。(図 24 参照) ユーティリティとは、重要な固定ページをピックアップし、グローバルナビゲーション上に設定する機能のことをいう。(図 25 参照)

この二つは、管理画面の「外観」「メニュー」で共に設定することができる。まずグローバルナビゲーションから設定する。メニューの名前に「global」と入力し、「固定ページ」エリア内からグローバルナビ

ゲーションとして設定したい項目をチェックして選んだ。チェックした項目が追加したことが確認できたので、次に、メニューの順番と階層の修正を行った。順番や階層が、異なっていると、正しく表示されない場合がある。確認ができればメニューを保存。(図 26 参照)

次にユーティリティメニューの設定をする。メニューの名前に「utility」と入力し、新しくメニューを作成した。こちらも同じく、ユーティリティとして設定したい固定ページにチェックを入れて追加し、メニューを保存した。(図 27 参照)

両方作成できれば、「テーマの場所」の設定をする。【資料】「グローバル」には「global」を、「ユーティリティ」には「utility」を選択し、保存した。これで、グローバルナビゲーションとユーティリティの設定は完了である。(図 28 参照)

#### (4) お問い合わせフォーム

お問い合わせフォームを設定し、ユーザーからのお問い合わせメールを受け取るための設定を行う。まず、複数のコンタクトフォームの作成・管理が行える「Contact Form 7」のプラグインを有効化させた。有効化されると、「有効化」リンクが「設定」に変わった。(図 29 参照) その設定ボタンをクリックすると、コンタクトフォームのページへ移動する。(図 30 参照) ページに現れたフォームをコピーし、管理画面の「固定ページ」「固定ページ一覧」にある「お問い合わせ」ページの編集画面にペーストした。次に、ペーストしたフォームをユーザーに入力してほしい情報を表示できるようにカスタマイズした。

問い合わせした方への確認メールと、お問い合わせがあった場合に管理者へ送信させるメールの設定を行った。先ほどのプラグイン

「Contact From 7」で、宛先、差出人、件名、メッセージ本文を入力。  
(図 31 参照) 保存し、表示と動作の確認ができれば設定完了である。(図  
32 参照)

#### (5) ビジネスサイトを作ってみて

教科書通り、一通り作り終わって思ったことは、設定が細かくてややこしいということである。私は WordPress を、全くの初心者の状態でビジネスサイトを作ってみたが、HTML とは違い、非常に複雑であった。そのため、教科書通りに進めているだけでも想像以上に時間がかかってしまった。

WordPress を進めて頂いた時に、難しいけれど慣れれば便利とおっしゃっていた福田先生という言葉通りである。そして、一度作っただけではなかなか慣れられるものではない。ただ、一度 Web ページを完成すれば、その時その時の目的や気分に合わせて部分的に編集することは割と容易であると感じた。また、WordPress を使う一番の理由である、オンラインで Web ページを更新するという意味では、使い勝手が良い。

練習として、一度ビジネスサイトを作るという経験ができたことに関しては、大きな意味を成した。エラーが出た場合に、何が原因か、どうすれば解決できるか、などを知識として蓄積できたからである。ただ単に WordPress とは何か、どうやって作るのか、などをインターネットや参考書を読むだけでは理解し難い部分が思い返すだけでいくつも見当る。

反省点は、ただでさえ時間がかかってしまった上、教科書に紹介された、よりよい Web ページを完成させるための様々な機能を試し、卒業制作のメインである大谷大学チベット研究サイトにかかる時間がかなり

削られてしまったことである。色々な機能を知れた点では良かったが、あくまで卒業制作、そして卒業論文が目的としては、計画性に欠けていた。

#### 4 製作物の作成

##### (1) 再構築するにあたって

WordPress の知識を深め、実際に練習用としてビジネスサイトを作ることで経験を積み、製作物の大谷大学チベット研究サイトの再構築に取り掛かった。

ビジネスサイトは教科書通りにひたすら進めていったが、製作物を作るにあたっては、教科書がなくても WordPress で Web ページを作れるようになることを目標に、教科書に書かれているから追加するのではなく、なぜこれを追加すれば変化が見られるのか理解しながら進めて行くことにした。

まず、インストールした WordPress の最新バージョンをアップロードした。そして、製作物用の新しいデータベース「twrp」を作った。テーマは、WordPress サイトからインストールしたものを使用し、ビジネスサイトを作ったのと同様に、大まかな基本設定を行った。

##### (2) 固定ページ

固定ページを作るにあたって、固定ページの順序を考えた。既存の Web ページは、10 項目ページタイトルがあり、WordPress にそのまま固定ページのタイトルを並べると、工事中のまま更新されていないページを削除しても二行になってしまう。そこで、一行で抑えるために、親ページを六項目に抑え、その他を子ページとして設定することにした。

(図 33・34 参照)

練習用のビジネスサイトでは経験しなかった、固定ページ内でのハイパーリンク設定も行った。ハイパーリンクとは、ある文字をクリックすると、別のページへ移動することができる設定のことである。このハイパーリンクを設定するには、まず先に、管理画面の「固定ページ」「新規追加」で、移動する前のページと、移動先のページを作成する。管理画面の「固定ページ」「固定ページ一覧」から、移動する前のページの編集画面を開き、クリックさせたい言葉の前にカーソルを持っていく。本文を書くスペース直上の「link」をクリックすると、各ページのタイトルが表示され、移動先として指定したいページを選択することができる。選択すると、タグが表示されるので、クリックさせたい文字の語尾に</a>を移動させれば、ハイパーリンクを設定することができる。

(図 35 参照)

続いて、ビジネスサイトで経験しなかった、固定ページ内への画像の貼り付けと回り込みを行った。まず、管理画面の「メディア」「新規追加」から挿入したい画像を選択し、アップロードする。アップロードした画像の右に表示される「編集」をクリックと、画像の編集画面が表示される。編集画面では、代替テキストや説明などを追加することができる。

アップロードした画像を固定ページへ挿入するには、挿入させたい固定ページを、「固定ページ」「固定ページ一覧」から選び、編集画面を開く。画像を挿入させたい位置にカーソルを移動させ、パーマリンク直下の「メディアを追加」をクリックする。すると、先ほどの管理画面の「メディア」「新規追加」にアップロードした画像が表示される。挿入したい画像を選択し、右下に表示される「固定ページに挿入」をク

リック。すると、ビジュアルモードでは画像が表示され、テキストモード (HTML モード) では画像のタグが表示される。この状態で固定ページを表示させると、画像は表示されたが、文章の上に飛び出て表示された。

文章から飛び出るのを防ぐために、画像の回り込みを行った。まずテキストモードの場合はビジュアルモードに変更し、画像を表示させる。画像をクリックすると、画像の編集と、画像の削除が行える二つのアイコンが出てくる。二つのうち、左の画像を編集するためのアイコンをクリックすると、画像の編集画面が出現し、画像のサイズや配置が編集できるようになっている。配置は、なし・左・中央・右の四つから選択でき、左を選択すれば左に回り込みでき、右を選択すれば右に回り込みでき、文章から飛び出ることを防ぐことができた。(図 36・37 参照)

### (3) 投稿とフロントページ

投稿は、最新情報をお知らせする「新着情報」のページに設定することにした。カテゴリーをいくつか設定し、試しにタイトルと本文を入力し、表示させてみた。すると、「新着情報」のページではなく、トップページに投稿されてしまった。同時に、トップページとして表示させたかったページが反映されていなかった。

少し行き詰まり、教科書を読み直した結果、表示設定を変更しなければならなかったことがわかった。まず、管理画面の「設定」「表示設定」で、フロントページの表示を「最新の投稿」から「固定ページ」に変更し、トップページを、「投稿」のページから、「固定ページ」が反映するように変更することができた。また、固定ページを選択することで、フロントページと投稿ページを固定ページから選択することができるので、

フロントページにトップページにしたい固定ページを選び、投稿ページに新着情報を選ぶと、投稿を新着情報で表示させることができる上、トップページにしたい固定ページをトップページに反映させることができた。(図 38 参照)

## 5 おわりに

卒業制作を作るにあたって、WordPress に初めて関わり、確かにややこしく、何度も同じ場所を読み返してやっと理解できたところも多かった。しかし、その分得ることができた知識も多く、Web サイトを作るなら HTML だと思い込んでいたが、個人的に趣味で Web サイトを作るとしたら、WordPress を使おうと思うまでになった。

卒業制作としては、もっと時間をかけて使い勝手をよく出来たらよかったと思う。卒業論文を書く時間も考え、取り入れるのを諦めた機能もいくつかあった。目標にしていた、教科書を見ずにサイトを作成できるようになるという点では、固定ページと投稿を作成するところまでならできそうである。それ以降はもう少し勉強と、使い慣らす必要がある。応用となる機能も使いこなせるようになると、自分の思うがままに使いたい機能を追加して Web サイトをカスタマイズできる。その点では、個人的に HTML よりも面白いと思った。

今回は Web ページを再構築するという最低限の目的しか果たせなかったが、もっと勉強したい意欲が湧き、今後も勉強して、WordPress で一人前に Web ページを作れるようになりたいと思う。

そしてその Web ページが、ゼミのテーマである「人の役に立てる Web ページ」として、誰かの力になれたらうれしい。

注

- (1) wikipedia WordPRes(<http://ja.wikipedia.org/wiki/WordPress>)
- (2) WordPress の使い方を覚えたい (<http://crossinthenight.com/wordpress/3767/>)
- (3) web 用語辞典 (<http://www23.atwiki.jp/sevenlives/pages/72.html>)

文献表

プライム・ストラテジー株式会社 著

2013 『本格ビジネスサイトを作りながら学ぶ WordPress お教科  
書』ソフトバンク クリエイティブ株式会社

日本語ローカルサイト運営チーム

2013 「WordPress 日本語ローカルサイト」(<http://ja.wordpress.org/>)

Matt Mullenweg

2013 「wikipedia WordPRes」(<http://ja.wikipedia.org/wiki/WordPress>)

K'

2011 「WordPress の使い方を覚えたい」(<http://crossinthenight.com/wordpress/3767/>)

有限会社アットフリークス

2012 「web 用語辞典」(<http://www23.atwiki.jp/sevenlives/pages/72.html>)